

三浦外洋セーリングクラブ理事会議事録

開催日：2018年9月11日（火）18：30～20：00

場 所：虎ノ門第二オカモトヤビル3階会議室

出席者：理 事：飯島、伊藤、尾山、小板橋、才藤、坂口、庄野、関根

監 事：望月

顧 問：大谷

出席理事8名 監事1名 顧問1名

欠席者：理 事：小川、北川、黒岩、児玉、新通、外山、羽柴、平松、星野、三輪

監 事：藤田

(敬称略)

尾山副会長が進行役となり、2018年度第1回理事会の開催については、次の通りとすることとなった。

理事の出席人数が過半数に達しないため、会長と事務局長で相談し、次の通り本理事会を進行する。まず、本理事会を議題に基づき進めて、内容を議事録として取り纏める。審議事項については、会長が議事要旨を取り纏めて、本日欠席の理事にお送りして、書面決議にて議決をとる。その結果については、議事録に添付して最終議事録とする。

庄野会長より就任の挨拶の後、議事録作成人に小板橋理事、同署名人に坂口理事を指名して、下記議案について審議した。

1. 報告事項第1号 退任理事への功労賞楯贈呈について

関根事務局長より5月の通常総会をもって退任された理事に対して、功労賞として楯を贈呈した。贈呈された方からは概ね良好の評価を受けたので、今後も続けていくつもりである。

2. 報告事項第2号 関東四団体長会議について

庄野会長より7月9日18：30から、関東四団体の会長・事務局長及び尾山前会長に同席頂き、会議を開催した。審議内容は、KTSの公示を来年度から統一化するとの議案が提出されたが、レース委員会の内諾を得なければならないことから、持ち帰りとした。その後、飯島レース委員長の了解を得て、その旨回答した。次に、安全委員会やルール委員会で開催する各種講習会について、各団体も興味があることから、共同開催の提案があり承諾した。これに伴い、レース委員会、安全委員会、ルール委員会の各委員長のメールリストを作成した。これにより、情報共有の措置

が取られている。最後に JSAF の Web 上からの会費納入システムについては、四団体とも今までの方針を踏襲し、四団体として反対することとした。

3. 報告事項第 3 号 経理関係について

関根事務局長より基金口座の整理は総会の監査意見を受けて実施し、定期及び普通の通帳は事務局が預かり、印鑑は会長が持つことで、どちらも一人では処理できないこととしている。中間決算報告はメールで流してあるが、ほとんど入金だけであると報告された。

4. 報告事項第 4 号 名刺の作成について

庄野会長より JSAF のロゴマークについては、JSAF に申請を行い正式に許諾を受けた上で使用している。11 名から注文を受けて配布済みである。再来年のオリンピックも鑑みて、裏面は英語表記としている。今回は予算措置が出来なかったことから自費での購入となったが、来年は予算措置を行い全員に配布することを検討したい旨が報告された。

5. 報告事項第 5 号 会長印作成について

庄野会長より当クラブ預金口座の名義が個人名義であることから、個人の認印が使われてきた経緯があり、会長交代に伴う引き継ぎ手続きには新旧の 2 名が出向かなければならなかったが、代表印を作成することで、新任 1 人で手続きが完結できることが報告された。

6. 報告事項第 6 号 全国外洋系団体長会議・事務局長会議について

庄野会長より 9 月 29 日（土）及び 30 日（日）に広島県呉市で開催される全国外洋系団体長会議並びに事務局長会議に庄野会長と関根事務局長が出席し、参加後にはレポートを回覧すると報告された。なお、平松理事も出席されるが、自費で行かれるとのことであった。

7. 報告事項第 7 号 安全委員会特別予算の企画・実施について

審議事項ではなく報告事項として扱うこととして、本日欠席の児玉理事からのレポートを庄野会長より説明された。安全委員会特別予算措置を 5 月の総会で設定したが、外洋特別規定カテゴリー 3 の講習会（理解と対策）を 12 月から 1 月の土曜日で設定し、内容は疑問点などについて参加者同士でディスカッションするとの児玉安全委員長が提出した企画について報告された。使用する参考書は、ワールドセーリング発行のガイドツーオフシュアーパーソナルセーフティの使用を考えている。また、近海航行区域の際にラフトの搭載が必要になるが、昨年三洋ラフトが

レンタル事業から撤退したことにより、レンタル先が限られてきている状況から、当クラブでラフトを購入して所属艇に対して貸し出す会員サービスを検討している旨が報告された。

7. 報告事項第 8 号 みさきヨット・リモート局の小網代 YC からシーボニアへの移設、並びに長期修繕計画作成について

児玉安全委員長より提出された報告書について庄野会長より説明があり、課題は 4 点で、1 点目はリビエラ側の受入れ可否、2 点目は無線設備の移設費用、3 点目はメンテナンス費用、4 点目は定期検査や免許更新手続き、これらをどうするのかということで、シーボニアに対して打診することの依頼があった。

シーボニアへの打診は、関根事務局長にお願いすることとなった。

8. 報告事項第 9 号 広報委員会設置について

関根事務局長より会員へのサービスの一環として、紙ベースの広報誌発行やホームページの更新作業を含めた広報委員会の設置を次回総会までの間に検討したい旨が説明された。庄野会長より広報は関根事務局長が一人で行っており、負担を減らす意味もあるとの意見が述べられた。

9. 審議事項第 1 号 理事会日程について

関根事務局長より理事会日程について提案があり、11 月 17 日（土）15 時から小網代ヨットクラブクラブハウスにて、1 月 16 日（水）、3 月 12 日（火）、4 月 12 日（金）15 時より事業及び会計監査、同月 17 日（水）、5 月 14 日（火）総会前理事会並びに通常総会とすることが、賛成 8 名、反対 0 名にて仮承認された。

10. 審議事項第 2 号 湘南レース運営を担う方への JSAF セーラーズ保険付保について

関根事務局長より湘南レース運営を担う 5 名の役員について、JSAF セーラーズ保険を付保することが諮られ、未加入者の確認をすることとした。

賛成 8 名、反対 0 名にて仮承認された。

11. 審議事項第 3 号 日本パラオ友好親善レース 共同主催依頼について

庄野会長より外洋三崎の新田会長が 2019 年 12 月 23 日に横浜ベイブリッジをスタートし、フィニッシュがパラオ共和国の 1935 マイルのオーシャンレースを発案されており、参加資格として検討されているのは、ディビジョンは IRC と ORC のデュアルスコアリング、OSR はカテゴリー 2、さらに横浜・パラオ特別規定が想定されている。参加費用は出艇料約 35 万円前後で、最少開催艇数は 10 艇とのこと

である。スタート前日の 22 日にプレレースと前夜祭を企画されている。本レースについては、関東 4 団体と神奈川県セーリング連盟の共同主催での実施を予定されており、当クラブにも打診が来ている。但し、費用負担はなく人的支援の協力依頼とのことである。協議の結果、万一の事故や安全面など主催者としての責任も伴うため、レース・ルール・安全の各委員長も交えて情報収集の上、前向きに検討していくが、継続審議となった。

1 2. 審議事項第 4 号 10/14 若大将カップ 9/23 ヨコヤマカップ 共同主催依頼について

飯島レース委員長より両レースとも昨年同様であり、共同主催の承諾書を提出したいとの提案があり、賛成 8 名、反対 0 名にて仮承認された。

1 3. その他

第 1 号 将来の役員候補者の理事会オブザーバー参加について

庄野会長より 5 月の総会で理事の定年が決まった関係で、数年後には退任される方が判っている状況を見据え、将来の理事候補者をどのようにして協力してもらうかという問題に対して、理事会にオブザーバーとして参加して頂き、当クラブの活動等を理解して頂き、将来理事として活動してもらうため、次回 11 月の理事会から対象者と思われる人をオブザーバー参加して頂くことが提案された。

第 2 号 過去の資料のデジタルアーカイブ化とクラウドの検討について

庄野会長より過去の資料のクラウド化については予算措置が必要であり来年度の総会で決めることになるが、なるべく早く検討した方が良いことから提案した。当クラブの歴史を紙ではなく電子データとして保管することを予定している。広報委員会が出来たら、この仕事を実施してもらうこととする。本件については、広報委員会の設置及びデジタルアーカイブ化とクラウドの検討として、継続審議及び予算化の検討をすることとした。

以上で本日の議事を全て終了し、20 時 00 分閉会した。

以 上

< 追 記 >

2018 年 9 月 18 日現在、欠席理事のうち 7 名から書面による回答を得た。

書面回答者 星野直広 羽柴宏次 外山昌一 三輪眞言 平松隆 北川隆 黒岩貴

審議事項 1 号 賛成 15 名 反対 0 名

同 2 号 賛成 15 名 反対 0 名

同4号 賛成15名 反対0名
拠って、審議事項1号・2号・4号は承認された。

2018年 9月 29日

議事録署名人

2018年度第1回理事会議事次第 並びに議事要旨

2018年9月11日(火) 18:30～
第二オカモトヤビル3階会議室

議題並びに議事要旨

1. 報告事項

第1号 退任理事への功労賞盾贈呈について

関根事務局長

5月総会をもって退任された理事へ盾をお贈りした。費用は約2万円。

第2号 関東四団体長会議について

庄野

7月9日関東四団体の会長・事務局長で打合せを行い、①2019年よりKTS公示の統一化、②安全・ルール講習会を四団体共同で開催すること、③上記に伴い、レース・安全・ルール委員長のメーリングリストを作成すること、④JSAF会費を会員から直接JSAFへ振込む件についてはシステム上の不具合も多いため、四団体としては反対する、ことを協議した旨を報告。

第3号 基金口座整理について

関根事務局長

5月総会の監査意見に基づき、基金の普通預金・定期預金を各1口座に整理したことと、8月末時点の一般会計収支が報告された。

第4号 名刺作成について

庄野

全11名の方より当クラブ名刺作成の依頼を頂き、完成品を披露。今回は自費での作成になったが、様子を見て全役員への配布を予算化することも今後の課題とする旨を説明した。

第5号 会長印作成について

庄野

会長交代にあたり、当クラブの会長印を作成した旨を報告した。

第6号 9月29日 全国外洋系団体長会議・事務局長会議について

庄野

9月29日に広島県呉市において、全国外洋系団体長会議と事務局長会議が開催されるため、庄野と関根が参加予定である旨を報告した。

第7号 安全委員会特別予算の企画・実施について

児玉理事代理 庄野

児玉安全委員長からの申し送り事項として、「外洋特別規定(カテゴリー3)の理解と対策」をテーマとする講習会を、12月から1月の土曜日にて企画していることを報告した。また、近海の航行区域を得るために必須のライフラフトのレンタル業者が廃業したため、当クラブにてラフトを購入して会員へ貸し出すサービスも検討していることを報告した。関根理事より会員から不要なラフトを提供してもらい、それを整備点検した上で貸し出す方法もある旨指摘がなされた。

第8号 みさきヨット・リモート局の小網代YCからシーボニアへの移設、
並びに長期修繕計画作成について

児玉理事代理 庄野

児玉通信委員長からの申し送り事項として、①リビエラ社の受入可否の確認と検討課題、②日本無線への見積依頼、③無線機のメンテナンス、④定期検査・免許更新手続、が課題として挙げ

られ、リビエラ社の合意または内諾を得るべく、どなたかに動いて欲しい旨の要請が披露され、関根理事が同社へ打診をして頂くこととした。

第9号 広報委員会設置について

関根事務局長

会員サービスの一環で、紙媒体の広報が年に1回程度あっても良いであろうし、HPの更新業務等も含めた広報委員会の設置を、次回総会までの時間で検討していきたい旨が説明された。

2. 審議事項

第1号 理事会日程について

関根事務局長

理事会の日程を以下で策定した。11月17日(土)15時より小網代YCクラブハウスにて、1月16日(水)18時30分より虎ノ門にて、3月12日(火)18時30分より虎ノ門にて、4月12日(金)15時より監査、4月17日(水)18時30分より虎ノ門にて、5月14日(火)18時30分より虎ノ門にて総会前理事会並びに通常総会、と予定した。賛成8名、否決0名。

第2号 湘南レース運営を担う方へのJSAFセーラーズ保険付保について

関根事務局長

湘南レースの運営をして頂いている役員の方へ、JSAFセーラーズ保険を当クラブ負担で付保することが諮られ、全員一致で承認された。対象者は、(以下、敬称略)才藤、尾山、三輪、飯島、坂口の5氏で、既に自費で付保の方は来年度からを対象として、未加入の方を事務局にて確認の上、付保することとした。賛成8名、否決0名。

第3号 日本パラオ友好親善レース 共同主催依頼について

庄野

外洋三崎・新田会長の同レース企画書を回覧の上、概要を説明。2019年12月23日横浜ベイブリッジをスタート地点とし、パラオ共和国をフィニッシュとする、1,935マイルの国際外洋レースを、OSRカテゴリー2+横浜パラオ特別規程にて、参加費35万円、最小開催艇数10艇、プレレースと前夜祭を12月22日に計画、関東四団体と神奈川県連の共同主催、を骨子とする旨が説明され、共同主催依頼の扱いにつき審議した。万一の事故や安全対策など主催者としての責任も伴うため、レース・ルール・安全の各委員長を中心に情報収集を行うことが適切であろうとの指摘がなされた。外洋三崎へは、前向きに検討するが、確認を要する事項もあるため、継続審議とする旨を伝えることとした。継続審議とする。賛成8名、否決0名。

第4号 9/23ヨコヤマカップ、10/14若大将カップ 共同主催依頼について

飯島理事

上記2レースの共同主催依頼を審議した結果、若大将カップについてはJSAF登録艇を増やす工夫を求めることを附帯意見として、承認された。賛成8名、否決0名。

3. その他

第1号 将来の役員候補者の理事会オブザーバー参加について

庄野

5月の総会にて役員の新卒制が決定されたことを受け、役員人事の円滑な世代交代を促すため、将来の役員候補者を理事会にオブザーバーとして招くことが提案された。各委員会の委員としての含みをもちつつ、次回理事会以降、各フリートから適切な人材をお招きすることを検討した。

第2号 過去の資料のデジタルアーカイブ化とクラウドの検討について

庄野

歴代正副会長・事務局長人事と沿革を調べる過程で、当クラブの紙媒体による資料が散逸する恐れがあることが判明し、それら資料のデジタル化と、それらデータをクラウド上に保管することを、次の総会までに検討したい旨が説明された。